

2007年11月29日

## <ニュースリリース>

本リリースは2007年11月20日に米国で発表されたものです

米国研究製薬工業協会 (PhRMA)

### HIV/エイズの治療薬およびワクチン 92 種を開発中

米国研究製薬工業協会 (PhRMA) がこのほど発表した報告書によると、製薬企業は現在 HIV/エイズの治療薬およびワクチン 92 種を研究開発中です。今年 12 月 1 日には、1988 年に英国ロンドンで開催されたエイズ対策世界保健大臣会議で採択されスタートした世界的な啓発運動、「世界エイズデー」の 20 周年を迎えます。

ビリー・トーザン PhRMA 理事長は「現在、HIV 感染の治療と予防のために、新薬とワクチンの開発が進められている。この取り組みは非常に重要な意味を持っており、我々は大きな期待を寄せている。製薬企業は新しい治療法やワクチンの開発に注力し、HIV 感染者が充実した生活をより長く送ることができるように引き続き取り組んでゆく」と述べています。

この報告書によると、現在ワクチン 20 種および抗ウイルス薬 46 種など全部で 92 種の薬剤が臨床試験段階または米食品医薬品局 (FDA) による承認待ちの段階にあります。

20 年以上前にエイズウイルスが特定されて以来、HIV/エイズ治療薬 30 種が承認されています。最初の HIV/エイズ治療薬は HIV ウイルスが特定されてから 4 年後の 1987 年に開発されました。米政府の統計によると、近年、患者がより新しい処方薬を入手・利用できる可能性が高まったことで、米国におけるエイズによる死亡率は大幅に低下しています。

こうした進歩にもかかわらず、エイズは今なお世界的に重篤な疾病であり、多くの発展途上国で深刻な健康問題をもたらしており、特にサハラ以南のアフリカ、中国、インド、ロシア連邦において被害は甚大です。国連エイズ合同計画 (UNAIDS) によると、2006 年末時点における HIV 感染者は全世界で 3,270 万人と推定されています。

### *Pharmaceutical Research and Manufacturers of America*

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-7-8 ランディック第 2 虎ノ門ビル 4 階 電話 (03)5408-1061 ファックス (03)5408-1062  
Landic Toranomom Bldg. II 4F, 3-7-8 Toranomom, Minato-ku, Tokyo 105-0001 Japan  
TEL (03) 5408-1061 • FAX (03) 5408-1062

今年、HIV感染者は3,320万人に増加していると考えられ、2007年の新規感染者は210万人になると予想されています。

国際製薬団体連合会(IFPMA)によると、米国の研究開発志向型製薬企業は、2000年から2006年にかけて、発展途上国における医療の向上のため67億ドル(7370億円\*)を投じました。製薬各社のプロジェクトには、HIV/エイズ患者治療のための診療所設置、教育・予防プログラム、HIV母子感染予防プログラム、エイズおよび関連疾患の治療薬寄付などがあります。また、製薬各社は多くの国でエイズ治療薬を廉価で提供しています。

トーザン理事長はまた、「HIV/エイズ治療薬により、かつては死の宣告に等しかった疾患が、今や慢性疾患のように管理可能で治療可能な疾患へと変わった。さらに、製薬企業が研究開発に取り組んでいる新薬は、未来に対して一層明るい希望をもたらす」と述べています。

同報告書や開発中のHIVおよびHIV関連疾患の治療薬に関するその他の情報については、米国PhRMAウェブサイト (<http://www.phrma.org/files/Meds%20in%20Development%20for%20HIV:AIDS.pdf>) をご覧ください。

###

PhRMAは、米国で事業を行っている主要な研究開発志向型製薬企業と、バイオテクノロジー企業を代表する団体です。会員企業は新薬の発見・開発を通じて、患者がより長く、より健康でより活動的に暮らせるよう、先頭に立って新しい治療法を探求しています。会員企業の新薬研究開発に対する2006年の投資額は、約430億米ドル(概算)で、製薬業界全体の投資額は過去最高の552億米ドルに達しました。

PhRMAホームページ：<http://www.phrma-jp.org>

米国 PhRMA ホームページ：<http://www.phrma.org>

生命を守る革新的な医薬品について：<http://www.innovation.org>

処方支援パートナーシップについて：<http://www.pparx.org>

輸入薬の危険性について：<http://www.buysafedrugs.info>

\* 1\$=110 円にて換算

### *Pharmaceutical Research and Manufacturers of America*

<参考資料>

### 開発中の HIV 治療薬およびワクチンの一例\*

**耐性細胞工学** - HIV に対する免疫反応を高める 2 種類の画期的技術を用い、遺伝子発現をターゲットとするアンチセンス療法 1 種が開発中です。新技術の 1 つは、血液細胞に遺伝物質を挿入してウイルスの成長を遅らせるものです。もう一方の技術は、ターゲット細胞に新しい遺伝子を挿入し、遺伝子が細胞の染色体に組み込まれるようにします。次に新しい遺伝子を組み込んだ細胞を患者に移植します。

**受容体の遮断** - 数多くの研究から、細胞表面上のタンパク質 CCR5 が変異しているケースでは、HIV ウイルスに繰り返し暴露しても感染しない人がいることが判明しています。HIV ウイルスは受容体たんぱく質である CCR5 に結合した後、細胞感染を起こします。このため変異タンパク質に結合することがないので、HIV ウイルスが細胞内に侵入することはありません。現在開発中の薬剤 1 種は、この研究によって得た知識を用いて HIV を阻止します。CCR5 受容体に結合することにより、ウイルスの細胞への侵入を阻止します。

**予防用ワクチン** - 現在開発中の遺伝子を基本としたあるワクチンは HIV 患者の様々な免疫反応を引き起こすことが確認されています。これは世界で最も一般的な HIV-1 ウイルス 3 種の防御を目的としています。

**HIV 感染の予防** - 世界保健機関(WHO)は、HIV の主な感染経路は無防備な性行為であるとしています。新しい局所殺菌剤により、コンドームを使用しなくても女性が身を守ることが可能になります。これは、HIV をはじめとする性感染症の予防用に研究されている新しいクラスの薬剤で、ヒト投与後に強力な抗ウイルス活性を示しました。

**苦痛緩和ニーズへの対応** - 苦痛を伴う HIV 関連の神経障害は、HIV/エイズにより頻発する合併症の一つです。一般的に足や手に痛みが生じ、HIV や特定の HIV 治療薬の副作用で起こることもあります。開発中の局所治療薬 1 種は、唐辛子の天然由来辛味成分を合成したもので、数週間にわたり痛みを大幅に軽減することが確認されています。現在米国において、痛みを伴う HIV 関連の神経障害の承認された治療薬はありません。

\* 「開発中の HIV/エイズ治療薬 2007 年」( PhRMA ) より

### *Pharmaceutical Research and Manufacturers of America*

---

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-7-8 ランディック第 2 虎ノ門ビル 4 階 電話 (03)5408-1061 ファックス (03)5408-1062  
Landic Toranomom Bldg. II 4F, 3-7-8 Toranomom, Minato-ku, Tokyo 105-0001 Japan  
TEL (03) 5408-1061 • FAX (03) 5408-1062